

9月7日（日）4日目



↑ 攻めたのはロープの内側のコーナー。カキツバタだけが綺麗に刈り残されています。



最終日、池中央部の機械刈りした草の運び出しの仕事を予想していましたが、この日与えられたのは、初日に行ったテント前の奥の部分の手刈り。道路から見ると、目立ちませんでしたが、確かにアゼスゲが密生していました。この日8人のイデキュー部隊は、達成の見える化にこだわり、対象エリアの角に陣取り、暑さにめげず、皆さん精力的に仕事をこなしました。刈谷市の担当者、守る会の皆さんの話では、雨の日のブランクを物ともせず、予定の作業計画を達成できたとのことでした。

これにて、今年のボランティアも無事終了。参加した皆さん、お疲れ様でした。

雨にもめげず、暑さにも倒れず、4日間でした。



ボランティア25年あれこれ④【タヌキのお墓発見】

2015年9月3日、丘陵地の竹の切り出し作業中、墓標を見つけました。守る会の古い方に聞くと、小堤西池のカキツバタの保護活動で伝説の杉浦正巳先生に、ここでタヌキが死んでいるのを発見し埋葬したという話を聞いたことがあるとのことでした。2001年の1回目のボランティアのイデキューNEWSには「森にはタヌキも住んでいるそうです。」とありましたが、タヌキ伝説の証拠の発見となりました。



A



↑ 今年2回目の江川課長



E



↑ 完全武装は今岡さん。



↑ iBPの結城さん



↑ 一番奥、赤いキャップの土井部長の付近に陣取りました。